

平成 23 年度 2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	27	秩序のなかにもぎわいのある都市空間をつくる	評価責任者 (基本施策主管課長)	中心市街地活性化推進室長 東 弘久
-------	----	-----------------------	---------------------	----------------------

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系	基本目標	快速政策
	自然と調和し、秩序のあるまちづくり	
① 市民意識調査結果		<p>②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果</p> <p>市民意識調査によると、本基本施策の満足度は平均より低く、必要度は、ほぼ平均値であることが分かる。しかしながら、「秩序の中にもぎわいのある都市空間をつくる」という基本施策の必要性について、「力を入れてほしい」、「どちらかといえば力を入れてほしい」と回答されている方が全体の83%を占めており、必要性の高さが伺える。</p>
③ 基本施策の現状と課題	<p>①中心市街地では住民の郊外流出による局地的な人口の減少、少子高齢化、商業機能の低迷による地域核としての求心力の低下、城下町の歴史的景観の崩壊などが進んでおり、都市機能の充実や歴史的景観の保全など早急な対処が必要である。</p> <p>②現在の市域には4つの都市計画区域と都市計画区域外の地域が混在しており、本市として一体的な都市づくりを推進していくためには、都市計画区域の再編を行い、区域区分の方針を定める必要がある。</p> <p>③交通の結節点に位置するポテンシャルの高い駅周辺において、適正な土地利用が図られていないため、安全面及び有効活用の視点から整備が必要である。</p>	
④ 基本施策の意図、今後の展望	<p>①中心市街地活性化基本計画に活性化を図るための事業として位置づけられた上野市駅前地区第一種市街地再開発事業をはじめとする51事業の実施に向けた取組みを進めることにより、商業施設を含めた都市機能の充実及び歴史的景観の保全を図り、交流人口の増加、まちなか居住の促進などまちなかの賑わいを誘引する。</p> <p>②将来展望に立った望ましい都市形成を図るため、都市マスタープランに基づき都市計画区域の再編を行い、全市統一した土地利用管理手法の策定を図る。</p> <p>③交通結節点に位置するポテンシャルの高い駅のひとつで、本市の南の玄関口機能を有する伊賀神戸駅へのアクセス道路及び駅前広場の整備を推進する。</p>	

⑤基本施策指標の検討・設定

現況の課題、意図、今後の展望のキーワード		考えられる基本施策指標候補		優先順位
上野市駅前地区第一種市街地再開発事業		現況再開発整備面積		1
都市計画区域の再編		事業の進捗		2
まちなかの賑わい		まちなか回遊者(定点観測結果)		3
伊賀神戸駅		事業の進捗		4

基本施策指標名	単位	過年度実績		評価年度			ベンチマーク	指標の説明
		H21	H22	H23	H25	H27		
1 市街地再開発整備	目標	ha	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	現況再開発整備面積(実数)
	実績	ha	0	0				
	達成率	%	0.0	0.0				
2 都市計画区域の再編の進捗率	目標	%	50	50	70	100		作業進捗ベース
	実績	%	20	40				
	達成率	%	40.0	80.0				
3 まちなか回遊者数	目標	人	3200	3400	3600	4270	4270	中心市街地の定点通過者数
	実績	人	2585	1889				
	達成率	%	80.8	55.6				
4 伊賀神戸駅周辺整備事業の進捗率	目標	%		8	50	100	100	事業費ベース
	実績	%		7				
	達成率	%	#DIV/0!	87.5				

⑥基本施策構成事務事業の評価

担当課	ID	事業名	改善余地の有無	事業費(人件費込、単位:千円)			優先順位
				H22 決算額	H23 予算額	H24 所要額	
1	685	伊賀神戸駅周辺整備事業		14,098	58,200	38,100	4
2	694	都市計画調査策定等事業		19,807	19,434	25,400	2
3	697	市街地整備推進事業		2,281	2,525	2,525	3
4	698	中心市街地活性化推進室		4,200	4,100	5,600	3
5	699	産業建設部都市計画課		11,459	13,350	17,550	3
6	700	中心市街地活性化推進室		204,627	130,072	176,614	5
7	1095	中心市街地活性化推進室		172,176	3,212,831	530,941	1
8							
9							
10							
(以下 続紙)							
事業費 合計				428,648	3,440,512	796,730	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業

事業名	事業主体	事業内容等

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	中心市街地活性化基本計画に位置づけられている『上野市駅前地区第一種市街地再開発事業』、『城下町の風情を色濃く残すまちの保全整備』については、計画期間が設定されていることから、スケジュールどおり事業を推進していくことが重要である。また、都市計画区域の再編及び区域区分の方針については、市民合意の形成を、また、伊賀神戸駅周辺地区整備については、特に地元住民の合意形成が重要である。
2 事業構成の適当性(手段として最適か?)	『上野市駅前地区第一種市街地再開発事業』、『城下町の風情を色濃く残すまちの保全整備』については、伊賀市中心市街地活性化協議会と連携して、進めていく必要がある。都市計画区域の再編と区域区分の方針については、当市の土地利用にかかる根本の考え方であり、将来を見据えた手法を策定するうえで、市民の理解を得ることが重要である。伊賀神戸駅周辺地区整備については、県道バイパスへの接続の関係もあり、県と十分協議しながら進める必要がある。
3 役割分担の妥当性	各事業において、関係機関・各種団体と連携を図りながら、行政が主体的に推進する必要がある。
4 総合評価(今後の展開、事業の見直し等)	中心市街地活性化基本計画に位置づけられた事業については、認定計画の完了予定時期である平成25年3月までに3つの目標数値(歩行者・自転車通行量、小売商業年間販売額、コミュニティバスの利用者数)を満たすよう事業を推進しなければならない。また、都市計画区域の再編と区域区分の方針については、当市の土地利用にかかる根本の考え方であり、将来を見据えた計画を策定しなければならない。